

中学校 国語

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～大問 **3** については、マーク式解答用紙に、大問 **4**、**5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ～大問 **3** の解答は、選択肢のうちから、問題で指示された解答番号の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違っただけでぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

次の(1)～(5)の問いに答えよ。

- (1) 次の各文のうち、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日中央教育審議会）のうち、第2部「第2章 各教科・科目等の内容の見直し」で述べられている、国語に関する記述（「現行学習指導要領の成果と課題を踏まえた国語科の目標の在り方①現行学習指導要領の成果と課題」）の内容を述べたものとして誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 1
- 1 小学校では、文における主語を捉えることや文の構成を理解したり表現の工夫を捉えたりすること、目的に応じて文章を要約したり複数の情報を関連付けて理解を深めたりすることなどに課題があることが明らかになっている。
 - 2 中学校では、伝えたい内容や自分の考えについて根拠を明確にして書いたり話したりすることや、複数の資料から適切な情報を得てそれらを比較したり関連付けたりすること、文章を読んで根拠の明確さや論理の展開、表現の仕方等について評価することなどに課題があることが明らかになっている。
 - 3 高等学校では、教材への依存度が高く、主体的な言語活動が軽視され、依然として講義調の伝達型授業に偏っている傾向があり、授業改善に取り組む必要がある。
 - 4 高等学校では、文章の内容や表現の仕方を評価し目的に応じて適切に活用すること、多様なメディアから読み取ったことを踏まえて自分の考えを根拠に基づいて的確に表現すること、国語の語彙の構造や特徴を理解すること、古典に対する学習意欲が低いことなどが課題となっている。
 - 5 今回の学習指導要領の改訂においては、これまでの成果を踏まえるとともに、課題に適切に対応できるよう改善を図ることが求められる。その際、コミュニケーション力の育成を効果的に図るため、グループワーク、ディベート等の言語活動の充実を図ることが必要である。

(2) 次の表は「中学校学習指導要領」(平成29年3月告示)の「国語」の「第2 各学年の目標及び内容」に示されている、指導段階の内容の一部である。――部A～Dの語句について、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

2

〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。		
【第3学年】	【第2学年】	【第1学年】
<p>ア 目的や意図にに応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。</p> <p>ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。</p> <p>エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。</p>	<p>ア 目的や意図にに応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、中心的部分と付加的部分の違いを意識して、文章の構成や展開を工夫すること。</p> <p>ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。</p> <p>エ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。</p>	<p>ア 目的や意図にに応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。</p> <p>ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。</p> <p>エ 事実と意見との違いを区別し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。</p>

5	4	3	2	1
A	A	A	A	A
×	○	×	○	×
B	B	B	B	B
×	×	×	○	○
C	C	C	C	C
×	×	○	○	×
D	D	D	D	D
○	×	○	○	×

- (3) 次の文章は「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）の「第2章 各学科に共通する各教科 第1節 国語 第2款 各科目」について、「第1 現代の国語」の「2 内容〔知識及び技能〕」に示されている一部である。空欄①～④に当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

(1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 言葉には、を支える働きがあることを理解すること。

イ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、などに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。

ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

エ において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

オ 文、話、文章の組立て方や接続の仕方について理解すること。

- | | | | | |
|---|----------|---------|---------|-------|
| 1 | ①適切な人間関係 | ②敬意と親しさ | ③学術的な学習 | ④効果的な |
| 2 | ①認識や思考 | ②敬意と親しさ | ③実社会 | ④効果的な |
| 3 | ①認識や思考 | ②敬意と親しさ | ③学術的な学習 | ④効果的な |
| 4 | ①認識や思考 | ②国際性や人権 | ③実社会 | ④論理的な |
| 5 | ①適切な人間関係 | ②国際性や人権 | ③学術的な学習 | ④論理的な |

- (4) 次のうち、平成29年3月に告示された「中学校学習指導要領」の「国語」の「第2 各学年の目標及び内容」に示されている、第1学年～第3学年の各学年の「2 内容〔知識及び技能〕」に関する説明として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は
- 1 第1学年の「知識及び技能」ウには、事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解することが示されている。
- 2 第2学年の「知識及び技能」エには、抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して使うことが示されている。
- 3 第3学年の「知識及び技能」イには、理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、単語の活用、助詞や助動詞などの働きを理解するとともに、慣用句、四字熟語などについて理解を深めることが示されている。
- 4 各学年の「知識及び技能」には、共通して「語感を磨き語彙を豊かにすること」と示されている。
- 5 第1学年の「知識及び技能」オには、敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと、第2学年の「知識及び技能」カには、敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことが示されている。

- (5) 次のうち、「中学校学習指導要領」（平成29年3月告示）の「国語」の「第2 各学年の目標及び内容」に示されている「我が国の言語文化」の取り扱いに関する内容として正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 5

- A** 第1学年においては、「音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと」が示されている。
- B** 第2学年においては、「作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむこと」が示されている。
- C** 第2学年においては、「現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ること」が示されている。
- D** 第3学年においては、「当時の人々の感じ方や考え方や生き方を想像して古典を読むことを通して、その世界に親しむこと」が示されている。

5	4	3	2	1
A	A	A	A	A
○	○	×	×	○
B	B	B	B	B
×	○	×	×	○
C	C	C	C	C
×	○	×	○	×
D	D	D	D	D
×	×	○	×	○

2

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。なお、設問の都合で本文の段落にI～VIの番号を付してある。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…「科学の方法」 岩波新書（青版） 313
中谷宇吉郎著 株式会社 岩波書店
19ページ14行目から23ページ13行目まで

（中谷宇吉郎「科学の方法」より）

- (1) 〓部A・Bのカタカナを漢字になおすとき、同じ漢字を含むものはどれか。1～5からそれぞれ一つ選べ。解答番号は、Aは 、Bは

A トウケイ

- 1 国をトウチする。
- 2 名演技にトウスイする。
- 3 土地の名義をトウキする。
- 4 筆者の人生観をトウエイする。
- 5 シュウトウな注意を払う。

B シュウセキ

- 1 他者の考えをハイセキする。
- 2 失敗の原因をツイセキする。
- 3 荷物をセキサイする。
- 4 地域産業にコウセキを残す。
- 5 会社のジウセキを担う。

- (2) 〓部①とあるが、その理由として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 科学の世界における自然の実態は、永遠に変化し続ける自然界の、限られた瞬間をとらえたものに過ぎないから。
- 2 科学の世界における自然の実態は、自然界の現象を、何か原因があつて、それと直結した結果であるにとらえたものであるから。
- 3 科学の世界における自然の実態は、自然界のうち原因結果的につらなる自然現象のみを認識したものであるから。
- 4 科学の世界における自然の実態は、特定の科学の思考形式を通じて、自然を一般化して認識したものであるから。
- 5 科学の世界における自然の実態は、自然から科学の思考形式にかなった面を認識したものであるから。

- (3) 次のことわざ・慣用句が、Ⅱ・Ⅲの内容に示された「思考形式としての因果律」となっているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 青は藍より出でて藍より青し
- 2 魚心あれば水心
- 3 風が吹けば桶屋が儲かる
- 4 犬も歩けば棒に当たる
- 5 虎穴に入らずんば虎子を得ず

- (4) 空欄②・③・④に当てはまる語句として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|----|---|---|----|---|----|---|----|
| 1 | ② | 結果 | ③ | 原因 | ④ | 結果 | 2 | ② | 原因 | ③ | 原因 | ④ | 原因 |
| 3 | ② | 結果 | ③ | 結果 | ④ | 結果 | 4 | ② | 原因 | ③ | 結果 | ④ | 原因 |
| 5 | ② | 原因 | ③ | 原因 | ④ | 結果 | | | | | | | |

- (5) — 部⑤とあるが、このことを具体的に説明したものととして、最も適切なものはどれか。
- 1～5から一つ選べ。解答番号は 11
- 1 科学は、人間が自然の実態を作り上げたり掘り下げたりする過程において少しずつ新たな事象を発見していく中で形づくられたものであるということ。
 - 2 科学は、人間が自然の実態を一つひとつ作り上げ、それを一般化することにより生み出されるものであるということ。
 - 3 科学は、人間が掘り下げた自然の実態を固定し、法則化することによって作り上げられたものであるということ。
 - 4 科学は、人間が自然の実態やその中にある法則を、科学的な思考形式の眼を通じて掘り下げることで得られるものであるということ。
 - 5 科学は、人間が自然に対する認識をつくる際に、ほんとうであるかちがっているかということを見極める評価の物差となるということ。

(6) この文章の構成に関する説明として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

12

- 1 I で科学と自然の実態の関係性について問題提示を行い、II・III では具体例を挙げながら科学についての筆者の見解を示したうえで、M で科学の新たな可能性について言及している。
- 2 I で科学と自然の実態の関係性について筆者の意見を提示し、III で具体例を挙げて科学の思考形式について言及したうえで、V・M でこれまでの論を踏まえつつ科学の本質について筆者の意見を総括している。
- 3 I で科学と自然の関係について詳述し、III で身近な具体例を挙げて両者の特徴を説明したのち、M で新たな視点からこれからの科学と自然の関係性のありかたについて筆者の意見を提示している。
- 4 I・II で科学と自然の相違点について具体例を用いて説明し、III・IV で両者の関係性について説明を補足したうえで、V・M で科学のとらえ方について新たな問題を提起している。
- 5 I・II・III で科学の思考形式について科学の歴史をふまえて一般論を示し、IV で筆者の意見と一般論の相違点について言及したうえで、V・M で科学の本質についての総括を行っている。

次の文章は『住吉物語』下巻の一部である。これより前の部分では、継母の策略から逃れるため都を離れた姫君の行方を捜していた中将が、霊夢に導かれて住吉をめざしていることが記されており、本文はその続きの部分である。これを読んで、あとの(1)～(7)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…新編 日本古典文学全集39 住吉物語とりかへばや物語
(作者未詳) 小学館
115ページ12行目から118ページ12行目まで

(『住吉物語』より)

〔注〕 少将殿―中将のこと。姫君たちが中将への昇進を知らないため。

- (1) 〓部A、Bについて、本文中での文法的説明として最も適切なものはどれか。1～5からそれぞれ一つ選べ。解答番号は、Aは 、Bは

A 「見せばや」

- 1 動詞「見す」の未然形＋願望の終助詞「ばや」。
- 2 動詞「見す」の連用形＋意志の終助詞「ばや」。
- 3 動詞「見す」の未然形＋順接の仮定条件「ば」＋疑問の係助詞「や」。
- 4 動詞「見る」の連用形＋サ行変格活用動詞「す」の未然形＋願望の終助詞「ばや」。
- 5 動詞「見る」の未然形＋サ行変格活用動詞「す」の未然形＋意志の終助詞「ばや」。

B 「あしかりなん」

- 1 ク活用の形容詞「あし」の連用形＋打消の助動詞「ず」の未然形＋推量の助動詞「ん」の終止形。
- 2 シク活用の形容詞「あし」の連用形＋並列の助動詞「ぬ」の未然形＋意志の助動「ん」の終止形。
- 3 シク活用の形容詞「あし」の連用形＋強意の助動詞「ぬ」の未然形＋推量の助動詞「ん」の終止形。
- 4 シク活用の形容詞「あし」の連用形＋願望の終助詞「なん」。
- 5 ク活用の形容詞「あし」の連用形＋強意の係動詞「なん」。

- (2) 〓部Cの敬語について、A本文中における敬語の種類、イ敬意の主体（誰からの敬意か）、ウ敬意の対象（誰に対する敬意か）として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- | | | | | | | |
|---|---|----|---|----|---|----|
| 1 | ア | 尊敬 | イ | 尼君 | ウ | 侍従 |
| 2 | ア | 謙譲 | イ | 侍従 | ウ | 少将 |
| 3 | ア | 尊敬 | イ | 侍従 | ウ | 少将 |
| 4 | ア | 謙譲 | イ | 尼君 | ウ | 侍従 |
| 5 | ア | 尊敬 | イ | 尼君 | ウ | 少将 |

- (3) 〓部①、③、④の語句について、本文中における意味として正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | | | | | | |
|---|---|----------|---|----------|---|-----------|
| 1 | ① | 何ともおそれ多い | ③ | 物思いに沈まれる | ④ | 情けないことだ |
| 2 | ① | ああすばらしい | ③ | 見渡しなざる | ④ | 驚いたことだ |
| 3 | ① | 何ともおそれ多い | ③ | 口ずさまれる | ④ | みつともないことだ |
| 4 | ① | あれ忌まわしい | ③ | 物思いに沈まれる | ④ | みつともないことだ |
| 5 | ① | ああすばらしい | ③ | 口ずさまれる | ④ | 驚いたことだ |

- (4) — 部②の解釈として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は
- 1 尋ねたい人もいなくなった住の江の渚では、風だけが今も松の木々の間を吹き続けていることよ。
 - 2 尋ねるべき人の消息に住む人がなくなった家で待つ私に教えておくれ、住の江の渚に吹き続ける松風よ。
 - 3 尋ねるはずの人が住の江で待ち続けているとの便りを、渚に吹き抜ける松風に乘せてとどけてくれるようです。
 - 4 尋ねてくれる人もいるはずのない住の江の渚に、いったい誰を待つといつて松風が絶えず吹いているのでしょうか。
 - 5 どうしているのかと尋ねるような人も今はもういなくなり、住む人もいない住の江の渚に松風だけが吹いているのでしょうか。

- (5) — 部⑤とあるが、その理由を説明したものととして最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は
- 1 探し続けてきた姫君にやっと会えたのに、「人聞きあしかりなん。我はなしと申し聞こえよ」という姫君の声が直接聞こえてきたから。
 - 2 姫君の声を聞いたはずなのに、慕っていた侍従から「姫君を失ひまゐらせて、慰みがたさにかくまよひはべるなり」と告げられてしまったから。
 - 3 自分の理解者であると思っていた侍従から、「見まゐらせさぶらへば、いよいよ昔恋しくこそ」とすっかり過去の人としての扱いを受けてしまったから。
 - 4 琴の音に誘われて歩き回るうちに、「私の御するしはあらたなる御ことにて」姫君とついに再会することができてこれまでの辛さも忘れてうれしくなったから。
 - 5 久しぶりに会った侍従は「こはいかに、あやしの所までおぼし立たせたまへるぞや」と驚いて泣くばかりで、少将に姫君のつらい状況を知らせてくれなかったから。

- (6) 次の文は、『住吉物語』について説明した文である。空欄Ⅰに入る作品名として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

『住吉物語』は、鎌倉時代に改作された物語で、その原型は、一〇世紀に成立したといわれている。当時の作品は、現存していないが、『源氏物語』や『枕草子』の中にその名を見ることが出来る。

母と死別した後、継母から冷遇を受けて不幸な境遇にある姫君が、苦難の果てに貴公子と結ばれるというストーリーで、平安時代に成立したといわれている『Ⅰ』とともに、継子物と呼ばれるジャンルの代表的な作品とされている。

- | | | |
|--------|------------|--------|
| 1 大和物語 | 2 うつほ物語 | 3 落窪物語 |
| 4 栄華物語 | 5 とりかへばや物語 | |

- (7) 愛し合う男女が住吉の地で再会する場面は、『源氏物語』の「滯標」の巻でも描かれている。海路で住吉を訪れた明石の君は、現地で源氏の一行に出会ったが、その華やかさに気後れしてしまい参詣できず、難波に船を向けてしまった。Aは、そのことを後から知った源氏が明石の君に送った歌で、Bはその返歌である。明石の君がBの和歌で詠んでいる内容として、最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：新編 日本古典文学全集21 源氏物語(2) 紫式部 株式会社 小学館

306ページ14行目から15行目まで、307ページ4行目から5行目まで

- 1 取るにたりない何の生きる甲斐もないような私ですのに、どうしてあなたを命がけでお慕いしてしまったのでしょうか。
- 2 ももの数にもならないような何のとりえもないわが身なのに、なぜあなたはこんな私にくしてくれるのでしょうか。
- 3 水上に浮かぶみおつくしのようには私をつなぎとめてくれないあなたなのに、なぜ私はこんなに思い初めてしまったのでしょうか。
- 4 難波の水辺の貝のように何時も離れることなくお尽くししたいものなのに、なぜわが身は離れたままであなたをお慕い続けているのでしょうか。
- 5 お慕いしても何のかわからないからと何も言わずにあなたのいた住吉から難波に去ったはずなのに、どうしていまさらあなたは私のことを思いだしたのでしょうか。

次の文章を読んで、あとの(1)～(7)の問いに答えよ。なお、設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典…中国古典小説選2 搜神記・幽明録・異苑他〈六朝I〉
 干宝 株式会社明治書院
 273ページ16行目から274ページ16行目まで

〔注〕

- 喬玄 ー侍中、太尉、太中大夫などの職を歴任した。
 捫摸 ー触る、触れる。
 応劭 ー字は仲遠。
 許季山 ー占いの名人。
 探躡索隱 ー奥深い道理を探求すること。
 眭孟 ー災異学者。
 京房 ー易学者。
 褊狭 ー偏狭。
 觴 ー酒を勧める。
 下土 ー片田舎。
 異分 ーこれといったとりえ。
 蹶躒 ー敬いながらも不安な様子。
 楊秉 ー『後漢書』卷七「桓帝紀」に延熹八年五月に死んだとの記述がある。

- (1) — 部①、⑤について、本文中における意味をそれぞれ答えよ。
- (2) — 部②とあるが、何を見たのか。十五字程度で説明せよ。
- (3) — 部③、⑦について、本文中における読みを現代仮名遣いでそれぞれ答えよ。
- (4) — 部④について、訓点を施せ。
- (5) — 部⑥について、次のⅠ、Ⅱの問いに答えよ。
 Ⅰ どのような行動をとっているのか。二十字程度で説明せよ。
 Ⅱ どのような目的でⅠのような行動をとっているのか。十五字程度で説明せよ。
- (6) — 部⑧の現代語訳は「一体どうして、希望もしていない高位を得られるでしょうか。」であるが、その書き下し文として最も適切なものはどれか。ア～オから一つ選べ。
 ア 何ぞ能へて望みを致して凶らざる所あらんや。
 イ 何ぞ能く望みを凶らざる所に致さんや。
 ウ 何ぞ能へて望みを凶らざる所に致さんや。
 エ 何ぞ能く致して凶らざる所に望まんや。
 オ 何をか能く望みを致して凶らざる所あらんや。

- (7) 空欄Xに入る地名として最も適切なものはどれか。ア～オから一つ選べ。
 ア 鉅鹿 イ 晋陽 ウ 新鄭 エ 洛邑 オ 薊

5

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

著作権保護の観点により、本文を掲載いたしません。

出典：『青春論』

亀井勝一郎著 株式会社 KADOKAWA
43ページ2行目から47ページ7行目まで

(亀井勝一郎『青春論』より)

(1) 部A、Cの漢字は読み方を答え、カタカナは漢字になおせ。

(2) 部①、②の本文中における意味として最も適切なものはどれか。次の各群のA～オからそれぞれ一つ選べ。

①「傑出」

- ア 新たに価値をみいだされること
- イ 困難にうちかつこと
- ウ 他からとびぬけてすぐれていること
- エ 奇妙でおもしろいこと
- オ 他と比べてかわりないこと

②「空々しく」

- ア とげとげしく
- イ おもしろくなく
- ウ 品がなく
- エ 愛想がなく
- オ わざとらしく

(3) 部③とあるが、なぜか。「自分」「相手」という言葉を用いて、解答欄の書き出しに続く形で、三十五字程度で説明せよ。

(4) 本文中における筆者の考えとしてふさわしくないものはどれか。A～エから一つ選べ。

ア 金銭は、手ごろな装飾品である愛の代用品となりうるものであるが、愛情の名において金銭を贈り続けても、人間は友人と望ましい関係の継続は不可能である。

イ 貧しい病める友人に励ましや慰めの言葉を贈ることは愛の表現の一つであり、無神経な人にとっては容易に満足感を得られるが、感受性のこまやかな人ほど一人角力におちいつてしまふことになる。

ウ 愛の表現において「はにかみ」はこまやかな感受性を持つ人だけが取りうる行いであるが、「はにかみ」は自身を孤独におちいらせるという可能性をはらんでいるという点で難しい行いであると言える。

エ 愛の表現として人に親切をつくすという行為は、あわれみや同情といった言葉によって絶妙なバランスで慈善を施すことになるものなので、一種の芸術のように美しい。

(5) 次の作品のうち、魯迅の作品はどれか。A～カからすべて選べ。

- ア 故郷 イ 名人伝 ウ 斜陽 エ 阿Q正伝 オ 大和古寺風物誌
- カ 杜子春

(6) 次の文は、中国の思想の書物に関連する説明文である。空欄Ⅰ、Ⅱに入る語をそれぞれ漢字二字で答えよ。

孔子の言行をまとめた『Ⅰ』、孟子の言行をまとめた『孟子』に南宋の朱熹が、『礼記』の中から『中庸』と『大学』を選び加え、これらを併せてⅡとした。

令和4年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

三次選考択一問題の正答について

校種	中学校	教科・科目	国語
----	-----	-------	----

解答番号	正答番号	解答番号	正答番号
1	5	11	4
2	3	12	2
3	2	13	1
4	4	14	3
5	4	15	5
6	1	16	5
7	3	17	4
8	5	18	2
9	3	19	3
10	2	20	1

中学校 国語 解答用紙

(2枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に楷書で記入すること)

受験番号	
------	--

4

得点

(7)	(6)	(5)		(4)	(3)	(2)	(1)
ア	イ	II		I		東 の 壁 が 白 く な っ て い る 様 子 。	① 部下、同僚、側近、 周囲の者など
		た め 。	快 く 怪 異 の 相 談 に 乗 っ て も ら う	し 、 酒 を 勸 め て い る 。	董 彦 興 に 対 し 、 無 礼 講 で ご 馳 走		
／	／	20	／	25	／	／	／

--	--	--	--	--	--	--	--

中学校 国語 解答用紙

(2枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に楷書で記入すること)

受験番号	
------	--

5

得点

(6)	(5)	(4)	(3)				(2)	(1)
I 論語	ア、 エ	エ	め	必	相	こ	① ウ	A
			。	要	手	ま		せきべつ
				以	の	や		
				上	気	か		
				に	持	な		/
				苦	(ち)	感		B
/	/	/	し	の	受	/	文豪	
II 四書				む	中	性	② オ	/
				こ	に	を		
				と	自	持		/
			40 /	を	分	つ		C
				避	を	た		感慨
				け	置	人		
				る	き	は		
			/			た		、

--	--	--	--	--	--